

# 医療法人 大宮シティクリニック 年報（2024年度）



健診は、チャンスです。

 **Omiya City Clinic**



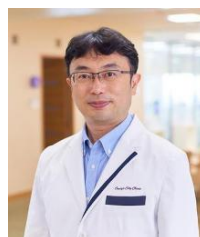
# 医療法人 大宮シティクリニック 年報（2024年度）

## <目次>

I	年報発刊にあたって	理事長 中川良	1
II	クリニックの最新動向	副所長 森山優	2
III	クリニック独自の取り組み	副所長 森山優	4
IV	クリニックの歩み		6
V	基本方針と医療理念		7
VI	概要と基本情報		8
VII	各種統計・データ	健康相談室 橋西真由美	10
VIII	各部門の活動		
	VIII-1 医局	副所長 森山優	12
	VIII-2 看護部	部門長 中島直美	15
	VIII-3 検査部	部門長 塚田こず恵	17
	VIII-4 放射線部	部門長 中澤浩子	19
	VIII-5 健康相談室	部門長 橋西真由美	21
	VIII-6 総務企画部	部門長 青鹿浩二	24
	VIII-7 ISO委員会	管理責任者 桑原香里 中島直美	26
IX	編集後記	年報作成委員長 森山優	27

表紙：「人間ドックの日」記念イベント フラワーウォール（2025年7月）

## I 年報発刊にあたって



理事長 中川良

大宮シテイクリニックは、本年も無事に年報をお届けできる運びとなりました。2022年度の前回年報で40周年の節目を迎えてからの2年間、当院は大きな変化と課題を経験しましたが、それらを全職員が力を合わせて着実に乗り越えてきました。その中でも、創業者であり前理事長であった中川高志の逝去は、当院にとって大きな節目でした。「すべては受診者のために」という姿勢を生涯貫いた前理事長の理念は、現在も職員一人ひとりの判断や行動に息づいています。突然の喪失の中にあっても、日々の健診を途切れさせることなく続けられたことは、これまで築き上げてきた組織基盤の確かさを改めて感じる出来事でした。

私自身にとっても、この1年は当院の理念である「生涯健康のガイドライン創り」を現代の予防医療に確かな形で引き継ぐための期間でした。健診は万能ではありませんが、科学的根拠に基づいた医療を丁寧に積み重ねることで、受診者が自らの健康と向き合うための確かな道しるべになると考えています。華やかな表現ではなく、現場に根ざした“等身大の医療”を誠実に提供する姿勢を、これからも大切にしていきたいと思います。

この2年間、当院では新システムへの移行やAIを活用した画像診断支援の導入、ロコモ度テストや体組成分析を軸とした予防医療の展開など、実証に基づく改善を積み重ねてきました。また、待合スペースの椅子の刷新、動線の見直し、説明資料の整理など、受診体験の細部にわたる環境整備も進めています。制度や環境の変化が加速するなかでも、流れに振り回されることなく、持続可能な健診体制を維持することを何より重視しています。

予防医療を支えるのは、医師だけではなく、看護師、臨床検査技師、放射線技師、事務職を含むすべての職員の専門性と丁寧な関わりが、健診の精度と安心を支えています。当院では働きやすい環境づくりや教育体制の充実に努め、スタッフが持つ力を長期的に発揮できる体制を整えてきました。質の高い健診は、質の高い職場から生まれるという考えは、当院の揺るぎない哲学です。

さらに、学術機関との共同研究やデータ解析によって得られた知見は、当院の予防医療の基盤をより確かなものにしつつあります。私たちは、実証に基づく現実的な医療を粘り強く積み重ね、受診者の健康を長期的に支える存在でありたいと願っています。

これからも「生涯健康のガイドライン創り」を軸に、誠実さと研鑽を両立させた予防医療を提供してまいります。前理事長が築いた確かな土台に新しい視点を重ねながら、次の10年を見据えた歩みを進めます。受診者の皆さま、関係機関の皆さまに心より感謝申し上げます。

## Ⅱ クリニックの最新動向

副所長 森山優

<特別講演会「ロコモのこれまでとこれから」を開催> (2024年1月27日)

2007年、日本整形外科学会から「運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態」として「ロコモティブシンドローム (ロコモ)」の概念が提唱されました。2010年には、「ロコモ チャレンジ! 推進協議会」が日本整形外科学会の下部組織として発足し、ロコモの啓発活動が行われています。

当院では2016年から人間ドックの標準検査項目として、ロコモの簡便な判定法である「ロコモ度テスト」を導入し、受診者全員を対象に現在も実施しております。

2024年1月27日、ロコモ チャレンジ! 推進協議会の歴代委員長、副委員長の先生方を当院にお招きし、特別講演会「ロコモのこれまでとこれから」を開催いたしました。

はじめに「ロコモの成り立ちについて」と題し、初代委員長の泉田良一先生(江戸川病院 慶友人工関節名誉センター長)にご講演いただきました。引き続き「2015年からのロコモ9年間の歩みと2024年からの展望」と題し、現委員長の大江隆史先生(NTT 東日本関東病院 院長)にご講演いただきました。座長は、現副委員長の石橋英明先生(伊奈病院 副院長・整形外科科長)にお勤めいただきました。

特別講演に続き、パネルディスカッション「これからのロコモ戦略を考える」と題し、3名の先生方による総合討論と、会場にご参加の皆様からいただいたご質問に対する質疑応答を行いました。

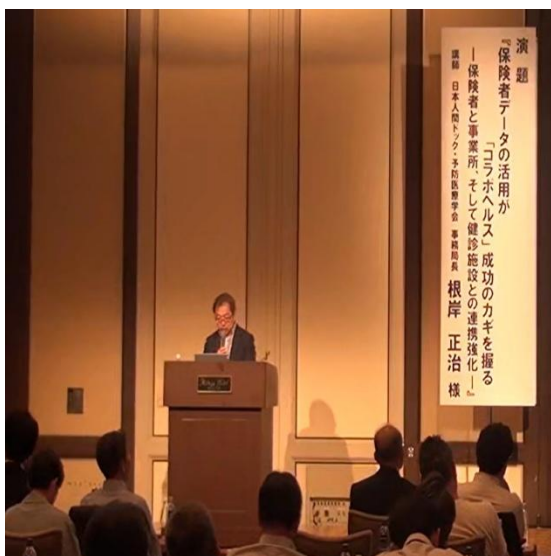
特別講演会の模様は、クリニックの公式YouTubeチャンネル「健康未来講座」にて公開しております。是非ご覧下さい。



## <「大宮シテイクリニック講演会」を開催> (2025年7月25日)

2025年7月25日、新型コロナ禍により長らく中断しておりました「大宮シテイクリニック講演会」(健康保険組合・企業の皆様を対象)を、パレスホテル大宮 ローズルームにて開催いたしました。

日本人間ドック・予防医療学会事務局長の根岸正治様を講師としてお招きし、「保険者データの活用が『コラボヘルス』成功のカギを握る～保険者と事業所、そして健診施設との連携強化～」と題し、保険者(健康保険組合)と事業所(企業)が積極的に連携し従業員と家族の健康づくりを効果的・効率的に実行する取り組み「コラボヘルス」における、保険者が有する膨大な健診データ活用の重要性や、健診施設との連携強化の必要性についてご講演いただきました。また、当院理事長の中川良より「大宮シテイクリニックの歩み～私たちの目指す最高の人間ドック～」と題し、当院のこれまでの歩みと将来の展望、現在の診療体制、人間ドックの様々なデータの解析結果等、より正確で効率的な医療サービス提供への取り組みについて紹介させていただきました。



### Ⅲ クリニック独自の取り組み

副所長 森山優

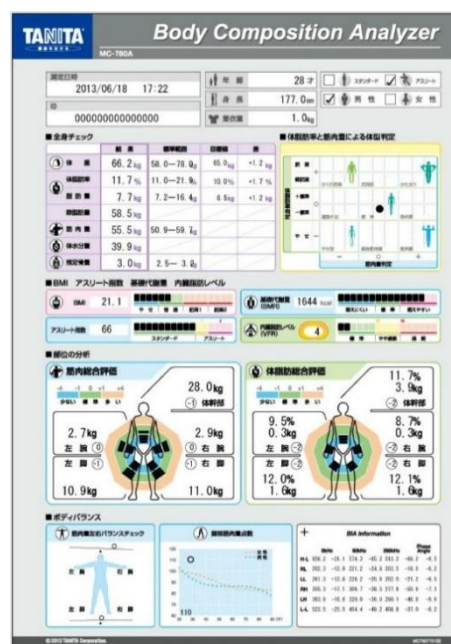
#### <体組成測定 ドック標準検査項目として導入> (2023年4月)

当院では2016年から人間ドックの標準検査項目として「ロコモ度テスト」を導入し、受診者全員を対象に実施してきました。ロコモティブシンドロームは「運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態」と定義されますが、その原因は「加齢や生活習慣による運動器の機能低下」と「運動器疾患の発症」に大別されます。

「運動器」とは、身体運動に関わる筋肉、骨、関節、神経などの総称です。主要な構成成分である筋肉は、10代をピークに加齢とともに減少していきます。同様に骨も、30代をピークに加齢とともに減少します。

当院ではロコモ対策の一環として、「加齢や生活習慣による運動器の機能低下」の指標となる筋肉量、骨量、脂肪量等に着目し、2023年4月に人間ドックの標準検査項目として、体組成計「MC-780A-N (タニタ)」を用いた体組成測定を導入いたしました。

MC-780A-Nは、全身チェック(体重、脂肪量、筋肉量、推定骨量)の他、体脂肪率と筋肉量による体型判定、基礎代謝量と内臓脂肪レベル、筋肉総合評価(四肢、体幹の部位別の筋肉量とボディーバランス)、体脂肪総合評価(四肢、体幹の部位別の脂肪量と脂肪率)など多角的な項目が測定可能です。ロコモ度テストとの総合的な判断により、特に高齢者になる前の壮年期(40歳~65歳)段階での気付きとロコモ対策に有用と考えられます。



#### <上部・下部内視鏡画像診断支援 AI「CAD EYE」の導入> (2023年4月・8月)

当院では1日あたり最大80件の上部消化管内視鏡検査を実施しております。内視鏡施行医による病変の検出や鑑別の精度を高める目的で、2023年4月にAIを活用した上部内視鏡診断支援システム「CAD EYE EW10-EG01」(富士フィルム株式会社)を、同年8月に下部内視鏡診断支援システム「CAD EYE EW10-EC02」(同)を導入いたしました。

「EW10-EG01」は、上部消化管の内視鏡検査時に胃の腫瘍性病変や食道の扁平上皮癌が疑われる領域をリアルタイムに検出するソフトウェアで、病変が疑われる領域を検出すると、対象領域を枠で囲んで表示し検出音を発することで、医師による検出を支援するシステムです。

「EW10-EC02」は、下部消化管の内視鏡検査時にポリープなどの病変の検出および鑑別を支援するソフトウェアで、上部EG-01と同様に病変が疑われる領域を検出すると対象領域を枠で囲んで表示し検出音を発するとともに、病変が疑われる箇所について腫瘍性・非腫瘍性の鑑別結果を色分けして表示するシステムです。

AIの活用により、内視鏡施行医による病変検出と診断精度の向上を支援するとともに、検査時間の短縮にも寄与しています。

#### <胸部X線画像診断支援 AI「EIRL Chest Screening」の導入> (2024年1月)

当院では1日あたり最大300件の胸部X線検査を実施しており、3名の放射線診断専門医(常勤)による読影を行っています。このような多数の胸部X線画像の読影・診断を支援する目的で、2024年1月よりAI画像診断支援システム「EIRL Chest Screening」(エルピクセル株式会社)を導入いたしました。

EIRL Chest Screeningは、肺結節、浸潤影、無気肺、間質性陰影の候補域を検出する「EIRL Chest XR」と、胸腔内の空気含有面積・肋骨横隔膜角・心胸郭比・縦隔幅・大動脈弓径を自動計測する「EIRL Chest Metry」の2つのソフトウェアが組み合わされたシステムです。AIを活用したアルゴリズムによって画像情報を解析することで、放射線診断専門医による読影業務の効率化と診断精度の向上を支援しています。

## IV クリニックの歩み

1983年 4月	「大宮西口診療所」として開設（350 m <sup>2</sup> ） （埼玉県大宮市桜木町 2-276 松栄第 1 ビル 1 階）
1985年 4月	日本病院会「優良自動化健診施設」認定を取得
1988年 4月	ソニックシティビル 14 階に移転（700 m <sup>2</sup> ） 「大宮シティクリニック」と改称
1991年 12月	「医療法人 大宮シティクリニック」に改組
2001年 12月	ISO9001（品質）、ISO14001（環境）認証を取得
2003年 8月	内部全面改装・施設拡張（930 m <sup>2</sup> ）
2005年 5月	日本人間ドック学会「健診施設機能評価」優良施設認定を取得
2008年 4月	マンモグラフィ検診施設・画像認定施設となる
2009年 4月	禁煙外来を開始
2010年 5月	ソニックシティビル 30 階に移転拡張（1600 m <sup>2</sup> ） 女性専用フロア（乳房検診・婦人科検診）を新設
2011年 5月	ドック当日の集団指導「栄養教室」（現・健康講座）を開始
2011年 6月	人間ドック標準検査項目に視野検査を導入
2012年 4月	「シルバー倶楽部」を創設
2014年 4月	人間ドック標準検査項目にヘリコバクターピロリ抗体検査を導入
2016年 4月	人間ドック標準検査項目にロコモ度テストを導入
2017年 5月	ソニックシティビル 29 階に画像読影室、検体検査室を移設（400 m <sup>2</sup> ） 総面積 2000 m <sup>2</sup> となる
2017年 8月	第 58 回日本人間ドック学会学術大会を主催（大会長：中川高志）
2020年 2月	埼玉県「多様な働き方実践企業認定制度」プラチナ認定を取得
2020年 11月	埼玉県「健康経営認定制度」健康経営実践事業所認定を取得
2021年 5月	公式 YouTube チャンネル「健康未来講座」を開設
2022年 8月	ソニックシティビル 2 階に定期健康診断専用フロアを増設（170 m <sup>2</sup> ）
2023年 4月	千葉大学との共同研究講座「次世代予防医療創生講座」を設立 人間ドック標準検査項目に体組成測定を導入 上部消化管内視鏡画像診断支援 AI「CAD EYE EW10-EG01」を導入
2023年 8月	下部消化管内視鏡画像診断支援 AI「CAD EYE EW10-EC02」を導入
2024年 1月	胸部 X 線画像診断支援 AI「EIRL Chest Screening」を導入

## V 基本方針と医療理念

### 生涯健康のガイドライン創り

～「生き生き」と生きる、豊かな高齢化社会を目指して～

当院では1983年の開設以来、医師、受付、看護師、技師など、全ての部門のスタッフが受診者・患者様とのコミュニケーションを大切にする医療を行なってきました。

スタッフ全員が、受診者・患者様の気持ちを尊重したコミュニケーションを心がけ、たゆまぬ努力を続けることで、ひとりひとりに合った医療を提供しています。

また、おもてなしの心を大切に、診察室から待合室に至るまで、よりよい医療環境づくりを目指しています。最新医療機器の導入はもちろん、受診時の居心地のよさにもこだわることで、暖かみを感じられるクリニックでありたいと考えています。

- ・ コミュニケーションを大切にした、分かりやすく、安心できる医療を提供いたします
- ・ 最新技術への積極的な取り組みにより、正確で、迅速な検査を行ないます
- ・ プライバシーを尊重したセキュリティシステムで、個人情報をお守りします
- ・ 第三者の認定基準を取得することで、開かれた医療を実践いたします
- ・ 快適で、やさしさの感じられる医療環境を大切にしています

「すべては受診者・患者様のため」それが、私たちが理想とする医療の姿です

## VI 概要と基本情報

### <名称>

医療法人 大宮シティクリニック

### <基本理念>

生涯健康のガイドライン創り ～「生き生き」と生きる、豊かな高齢化社会を目指して～

### <所在地>

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 ソニックシティビル 30 階

### <理事長>

中川良

### <開設年月日>

1983 年 4 月 1 日

### <正職員数>

130 名

### <年間受診者数（2024 年度）>

人間ドック：39720 名 生活習慣病予防健診：11331 名 定期健康診断：10607 名

### <敷地面積>

2170 m<sup>2</sup>（総面積）

30 階：1600 m<sup>2</sup>（健診メインフロア、外来フロア、内視鏡センター、受付、事務室）

29 階：400 m<sup>2</sup>（画像読影室、検体検査室、健康相談室、会議室）

2 階：170 m<sup>2</sup>（定期健康診断専用フロア）

### <医療設備>

上部消化管内視鏡：5 台 下部消化管内視鏡：1 台 超音波診断装置：8 台

X 線一般撮影装置：2 台 X 線透視装置：4 台 マンモグラフィ：2 台

80 列マルチスライス CT スキャナ：1 台（Canon TSX-036A）

#### <各種認定>

- ISO9001（品質）、ISO14001（環境）認証（2001年12月）
- 日本人間ドック学会「健診施設機能評価」優良施設認定（2005年5月）
- 埼玉県「多様な働き方実践企業認定制度」プラチナ認定（2020年2月）
- 埼玉県「健康経営認定制度」健康経営実践事業所認定（2020年11月）

#### <連携登録医療機関（埼玉県）>

- 自治医科大学附属さいたま医療センター（さいたま市大宮区）
- 獨協医科大学埼玉医療センター（越谷市）
- 埼玉医科大学病院（入間郡）
- 埼玉県立がんセンター（北足立郡）
- 埼玉県立循環器・呼吸器病センター（熊谷市）
- さいたま赤十字病院（さいたま市中央区）
- 埼玉メディカルセンター（さいたま市浦和区）
- さいたま北部医療センター（さいたま市北区）
- 彩の国東大宮メディカルセンター（さいたま市北区）
- 埼玉県済生会川口総合病院（川口市）
- 上尾中央総合病院（上尾市）
- 新久喜総合病院（久喜市）

#### <連携登録医療機関（東京都）>

- 東京大学医学部附属病院（文京区）
- 東京科学大学（旧：東京医科歯科大学）病院（文京区）
- 順天堂大学医学部附属順天堂医院（文京区）
- 日本医科大学付属病院（文京区）
- 帝京大学医学部附属病院（板橋区）
- 虎の門病院（港区）
- がん研究会有明病院（江東区）
- 佐々木研究所附属杏雲堂病院（千代田区）

#### <連携登録医療機関（千葉県）>

- 東京慈恵会医科大学附属柏病院（柏市）

## Ⅶ 各種統計・データ

健康相談室 橋西真由美

### <各種健康診断 年間受診者数>

#### (1) 人間ドック

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
合 計	33,584	35,193	36,228	36,940	37,588	35,281	38,378	40,646	40,792	39,720
男 性	19,163	20,045	20,710	21,148	21,682	21,081	22,478	23,854	23,982	23,510
女 性	14,421	15,148	15,518	15,792	15,906	14,200	15,900	16,792	16,810	16,210
リピート率	82.2%	83.3%	84.3%	85.3%	86.2%	86.3%	87.7%	86.3%	87.7%	88.6%

#### (2) 生活習慣病予防健診

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
合 計	11,999	12,602	12,647	12,773	12,637	11,606	11,661	11,990	12,171	11,331
男 性	5,937	6,175	6,281	6,236	6,006	5,863	5,826	5,936	6,072	5,661
女 性	6,062	6,427	6,366	6,537	6,631	5,743	5,835	6,054	6,099	5,670
リピート率	79.8%	80.4%	82.5%	82.4%	79.8%	81.3%	83.1%	82.4%	83.3%	83.4%

#### (3) 定期健康診断

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
合 計	13,709	11,088	10,812	11,196	10,373	10,046	10,130	10,531	10,620	10,607
男 性	6,908	5,567	5,282	5,316	5,226	5,261	5,453	5,666	5,755	6,079
女 性	6,801	5,521	5,530	5,880	5,147	4,785	4,677	4,865	4,865	4,528
リピート率	65.0%	67.9%	68.7%	66.4%	65.8%	64.5%	69.1%	65.8%	67.3%	63.6%

### <外来診療 年間患者数>

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
合 計	16,077	15,522	15,652	15,879	15,108

<検査種類別 年間実施件数>

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
胸部X線検査	55,784	59,011	61,942	62,365	60,530
胸部CT検査	1,088	1,179	1,241	929	927
喀痰細胞診検査	996	1,041	1,120	1,182	983
胃部X線検査	28,871	29,442	29,630	28,410	26,469
胃内視鏡検査	13,392	15,421	17,065	17,777	17,271
HP抗体検査	12,166	12,240	12,693	11,362	10,066
便潜血検査	46,709	49,744	52,356	52,867	50,853
腹部超音波検査	39,658	42,446	44,883	45,065	43,763
マンモグラフィ検査	9,272	9,969	10,405	10,342	9,482
乳腺超音波検査	10,102	10,865	11,328	11,258	10,825
子宮細胞診検査	13,724	14,600	15,094	14,838	13,704
PSA	9,434	10,323	11,102	11,477	11,157

<がん症例実態調査（日本人間ドック学会） 発見件数>

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
肺 癌	7	13	11	9	9
食 道 癌	3	8	7	10	3
胃 癌	13	11	11	22	15
大 腸 癌	33	42	44	30	24
乳 癌	46	44	53	50	55
子 宮 癌	3	5	7	14	6
前 立 腺 癌	20	25	46	21	18
そ の 他	24	30	32	42	24
合 計	149	178	211	198	154

## Ⅷ 各部門の活動

### Ⅷ-1 医局

副所長 森山優

#### <概要>

医局は、常勤医師 7 名（内科 4 名、放射線科 3 名）と常勤歯科医師 1 名の体制で運営しています。

非常勤医師は大学病院の医師を中心に約 70 名が勤務しており、人間ドック結果説明面談、婦人科検診、消化管内視鏡検査、心臓超音波検査、糖尿病専門外来、呼吸器専門外来、循環器専門外来等の業務に従事しています。

・非常勤医師の在籍大学病院

東京大学、東京科学大学（旧：東京医科歯科大学）、東京慈恵会医科大学、順天堂大学、埼玉医科大学、自治医科大学 等

#### <学会認定資格>

常勤医師の各種認定資格は、以下の通りです。

・ 日本人間ドック・予防医療学会 人間ドック健診指導医	2 名
・ 日本人間ドック・予防医療学会 人間ドック健診専門医	3 名
・ 日本消化器病学会 消化器病専門医	3 名
・ 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	2 名
・ 日本肝臓学会 肝臓専門医	2 名
・ 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	3 名
・ 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医	4 名
・ 肺がん CT 検診機構 肺がん CT 検診認定医	1 名
・ 日本医師会 認定産業医	6 名

#### <論文>

- ・ 君塚孝雄：大宮シティクリニックにおける「EIRL Chest Screening」の初期使用経験。月刊インナービジョン 2024；39（7）：60～62.
- ・ Komatsu K, Sano K, Fukai K, Nakagawa R, Nakagawa T, Tatemichi M, Nakano T：Associated factors of diabetic retinopathy by artificial intelligence evaluation of fundus images in Japan. Scientific Reports, 2023

- ・ Komatsu K, Sano K, Fukai K, Nakagawa R, Nakagawa T, Tatemichi M, Nakano T : Standardized evaluation of diabetic retinopathy using artificial intelligence and its association with metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease in Japan: A cross-sectional study. PLoS One, 2024
- ・ Goto C, Maruya K, Morita Y, Arai T, Yamaguchi S, Yamada K, Moriyama M, Ishibashi H, Nakagawa R : Prevalence and coexistence of locomotive syndrome with reduced mobility and metabolic syndrome: a cross-sectional study of 35,059 Japanese adults. Scientific Reports, 2025
- ・ Iwasa M, Eguchi A, Tamai Y, Shigefuku R, Tanaka H, Nakagawa R, Tempaku M, Kobayashi Y, Nakagawa H : Elevation of Immunoglobulin Free Light Chain and BAFF Levels Associated With Immune Activation Predicts Survival Rates in Chronic Liver Disease. Hepatology Research, 2025

#### <学会発表>

- ・ 中川良：人間ドック受診者全員への実施結果から考える：ロコモ度テストの重要性と展望. 第 65 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 シンポジウム 2 (日本整形外科学会合同シンポジウム). 2024 年 9 月 6 日, パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)
- ・ 後藤千尋：上部消化管内視鏡補助 AI が任意型検診の内視鏡スクリーニングに与える影響. 第 66 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 パネルディスカッション 1. 2025 年 8 月 22 日, 国立京都国際会館 (京都府京都市)

#### <学会座長>

- ・ 森山優：高齢者健診の未来 フレイル・ロコモ対策のために人間ドック・健診施設ができること～広げよう！ロコモ健診～. 第 65 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 シンポジウム 2 (日本整形外科学会合同シンポジウム). 2024 年 9 月 6 日, パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)
- ・ 中川良：ロコモ・フレイル (ポスター発表). 第 65 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 一般演題. 2024 年 9 月 6 日, パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)

#### <講演>

- ・ 後藤千尋：内視鏡 AI 導入 1 年後の集積結果～人間ドックに AI が与える影響～. 第 65 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 ランチョンセミナー14. 2024 年 9 月 7 日, パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)
- ・ 君塚孝雄：人間ドックの胸部一般撮影で AI 支援を使いこなす読影術. 第 65 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 ランチョンセミナー17. 2024 年 9 月 7 日, パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)

- ・君塚孝雄：健康診断施設における画像診断 AI の活用について。 EIRL Summit 2024～医療 AI の未来を共に創る～。 2024 年 12 月 7 日， 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター（東京都千代田区）
- ・中川良：当院人間ドックの肺がん診断の現状と課題～APOA2 アイソフォームへの期待～。 第 66 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 ランチョンセミナー4。 2025 年 8 月 22 日， 国立京都国際会館（京都府京都市）

#### <講習会の主催>

- ・君塚孝雄， 新藤昇：胸部 X 線の読影。 第 2 回大宮シテイクリニック肺がん検診講習会（日本肺癌学会「肺癌診断を主とした胸部 X 線読影講習会」認定講習会）。 2024 年 3 月 9 日， Web 開催

#### <関連学会・研究会への参加>

- ・第 31 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2023）。 2023 年 11 月 2 日～5 日， 神戸コンベンションセンター／Web 開催（兵庫県神戸市）
- ・第 83 回日本医学放射線学会総会。 2024 年 4 月 11 日～14 日， パシフィコ横浜／Web 開催（神奈川県横浜市）
- ・第 110 回日本消化器病学会総会。 2024 年 5 月 9 日～11 日， アスティとくしま／Web 開催（徳島県徳島市）
- ・第 60 回日本肝臓学会総会。 2024 年 6 月 13 日～14 日， 熊本城ホール／Web 開催（熊本県熊本市）
- ・虎の門病院肝疾患診療連携研修会「ウイルス性肝炎から脂肪肝まで最近の話題」。 2024 年 7 月 14 日， 赤坂インターシティ AIR（東京都港区）
- ・第 60 回日本医学放射線学会秋季臨床大会。 2024 年 10 月 18 日～20 日， 福岡国際会議場／Web 開催（福岡県福岡市）
- ・第 32 回日本消化器関連学会週間（JDDW 2024）。 2024 年 10 月 31 日～11 月 3 日， 神戸コンベンションセンター／Web 開催（兵庫県神戸市）
- ・第 84 回日本医学放射線学会総会。 2025 年 4 月 10 日～13 日， パシフィコ横浜／Web 開催（神奈川県横浜市）
- ・第 111 回日本消化器病学会総会。 2025 年 4 月 24 日～26 日， 京王プラザホテル／Web 開催（東京都新宿区）
- ・第 61 回日本肝臓学会総会。 2025 年 6 月 5 日～6 日， ホテルニューオータニ／Web 開催（東京都千代田区）

## Ⅷ-2 看護部

部門長 中島直美  
年報委員 照井桂

### <概要>

看護部は健診部門と外来部門の2つで構成されており、看護師15名（常勤13名、非常勤2名。うち外来部門4名）、保健師3名、アシスタント12名、ロコモトレーナー4名の体制で運営しています。

健診部門は、面談（情報収集、健診後のフォローアップと受診勧奨等）及び、血圧測定、視力検査、採血、診察介助、婦人科検診介助、ロコモ度テスト、体組成測定等の業務に従事しています。

外来部門は、一般外来診察・人間ドック結果説明面談の介助、上下部消化管内視鏡検査の介助と前処置、禁煙外来等の業務に従事しています。

### <認定資格>

常勤職員の各種認定資格は、以下の通りです。

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| ・日本消化器内視鏡技師会 消化器内視鏡技師          | 10名 |
| ・日本人間ドック・予防医療学会 人間ドック健診情報管理指導士 | 2名  |
| ・アメリカ心臓協会 BLSプロバイダー            | 5名  |

### <外部研修会・講習会への参加>

- ・日本人間ドック学会「第69回人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会」。2023年11月7日～24日、オンデマンド配信
- ・神奈川消化器内視鏡技師会「第42回神奈川消化器内視鏡技師研究会」。2024年4月21日、横浜市教育会館（神奈川県横浜市）
- ・千葉県消化器内視鏡技師会「第19回千葉県消化器内視鏡技師研究会」。2024年8月4日、オンデマンド配信
- ・埼玉県消化器内視鏡技師会「第26回埼玉県消化器内視鏡技師研究会」。2024年10月13日、大宮ソニックシティ小ホール（埼玉県さいたま市）
- ・日本人間ドック・予防医療学会「第72回人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会」。2024年11月6日～25日、オンデマンド配信
- ・埼玉県保健医療部健康長寿課「令和6年度特定健康診査・特定保健指導スキルアップ研修会」。2024年11月18日、埼玉県浦和合同庁舎第2研修室（埼玉県さいたま市）
- ・アメリカ心臓協会「BLS講習会」。2025年5月24日、大宮シテイクリニック会議室

- ・埼玉県消化器内視鏡技師会「第59回埼玉県内視鏡講義講習会及び機器取扱い講習会」.  
2025年7月6日, 大宮ソニックシティ小ホール(埼玉県さいたま市)
- ・千葉県消化器内視鏡技師会「第20回千葉県消化器内視鏡技師研究会」. 2025年8月3  
日, オンデマンド配信

<その他>

- ・自動血圧測定器導入(2025年4月)

## Ⅷ-3 検査部

部門長 塚田こず恵  
年報委員 鈴木千尋

### <概要>

検査部は、臨床検査技師28名（常勤25名、非常勤3名）の体制で運営しています。

検体検査（血液学、生化学、尿、便潜血）と生理機能検査（身体計測、聴力、眼圧、眼底、視野、心電図、超音波（腹部・乳腺・甲状腺・頸動脈））、及び採血業務を担当しています。

当院では、検体検査・生理機能検査のすべての技術を全員が習得し、誰もがどの検査も行える体制を取っているのが特徴です。

### <認定資格>

常勤職員の各種認定資格は、以下の通りです。

・日本超音波学会 超音波検査士（消化器領域）	11名
・日本超音波学会 超音波検査士（体表臓器領域）	10名
・日本超音波学会 超音波検査士（循環器領域）	1名
・日本乳がん検診精度管理中央機構 乳がん検診超音波検査実施技師	2名
・日本臨床検査医学会 緊急臨床検査士	4名
・日本臨床検査医学会 2級臨床検査士（血液学）	1名
・日本不整脈心電学会 心電図検定1級	6名
・日本不整脈心電学会 心電図検定2級	13名
・アメリカ心臓協会 BLSプロバイダー	6名

### <学会発表>

- ・前場紀代美：人間ドック・健康診断での適正な中性脂肪判定のための検査前食事時間の調査. 第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 一般演題 脂質・肥満（ポスター発表）. 2024年9月6日, パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

### <外部研修会・講習会への参加>

- ・埼玉県臨床検査技師会「尿沈渣を極める③～異型細胞編～」. 2023年10月26日, Web開催
- ・日本超音波検査学会「第146回医用超音波講習会～スペシャリストの思考を学んでさらに進化～」. 2023年11月30日～2024年2月29日, Web開催

- ・日本超音波検査学会「第6回乳腺超音波ファントム実技セミナー」。2024年1月13日，としま区民センター（東京都豊島区）
- ・奈良県臨床検査技師会「日臨技・奈臨技サーベイ解説（心電図）」。2024年2月9日，Web開催
- ・キャノンメディカルシステムズ株式会社「第4回 膵臓USエキスパート養成セミナー（PNUTS）」。2024年3月1日，兵庫医科大学10号館／Web開催（兵庫県西宮市）
- ・キャノンメディカルシステムズ株式会社「マンモグラフィオンラインセミナー 極める！～マンモグラフィと乳腺エコーの臨床知識・解剖学～」。2024年6月15日，Web開催
- ・日本超音波検査学会「JSS関東甲信越 第51回地方会学術集会～まるっと一日体表超音波検査～」。2024年9月15日，東京国際フォーラム ホールB5／Web開催（東京都千代田区）
- ・日本超音波検査学会「第149回医用超音波講義講習会 中級対象講義講習会」。2024年12月8日，東京国際フォーラム ホールB7／Web開催（東京都千代田区）
- ・栄研化学株式会社「大学病院で30年に及ぶ尿沈渣経験から得られた技術を伝授」。2024年6月13日～17日，Web開催
- ・沖縄県臨床検査技師会「血小板減少症へのアプローチ」。2024年8月29日，Web開催
- ・埼玉県臨床検査技師会「第2回 埼玉心電図スペシャリスト2024 スマホで問題に挑戦！実力確認！」。2024年11月14日，Web開催
- ・東レ株式会社「明日から変わる膵癌診断～APOA2アイソフォームという新たな選択肢～」。2025年2月4日，Web開催
- ・株式会社特殊免疫研究所「かかりつけ医・非肝臓専門医から肝臓専門医への紹介のために」。Web開催
- ・大宮医師会「第1回大宮医師会乳がん検診症例検討会」。2025年9月4日，大宮医師会大会議室／Web開催（さいたま市北区）
- ・株式会社ビー・エム・エル「採血－実践のポイントと患者対応への試み－」。2025年9月6日，東京国際フォーラム ホールB7（東京都千代田区）

#### <精度管理>

- ・日本臨床衛生検査技師会 臨床検査精度管理調査：A判定（2024年6月）
- ・日本医師会 臨床検査精度管理調査：99.2点（2024年9月）

#### <その他>

- ・自動グリコヘモグロビン分析計 買替え（東ソー HLC-723GR01）（2024年4月）
- ・血圧脈波検査装置 買替え（フクダ電子 VS-2000）（2024年7月）
- ・マイクロスパイロ 買替え（日本光電 HI-801）（2024年9月）
- ・薬用冷蔵ショーケース 買替え（フクシマガリレイ FMS-800GH）（2024年9月）

## VIII-4 放射線部

部門長 中澤浩子  
年報委員 市川裕也

### <概要>

放射線部は、診療放射線技師 17 名（常勤 16 名、非常勤 1 名）の体制で運営しています。

一般撮影検査、上部消化管造影検査、骨密度測定、CT 検査、マンモグラフィ検査、超音波検査（腹部・乳腺）を担当しています。また、上下部消化管内視鏡検査の介助も担当しています。

### <認定資格>

常勤職員の各種認定資格は、以下の通りです。

- ・日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 7 名
- ・日本消化器内視鏡技師会 消化器内視鏡技師 8 名
- ・肺がん CT 検診認定機構 肺がん CT 検診認定技師 1 名
- ・アメリカ心臓協会 BLS プロバイダー 6 名

### <学会発表>

- ・金田莉緒：ピロリ菌抗体陽性者における除菌実施率向上に向けた取り組みについて、第 65 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 経営／運営／業務改善における効果的・効率的な取り組み紹介 5（ポスター発表）、2024 年 9 月 6 日、パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

### <講習会の企画・運営>

- ・君塚孝雄，新藤昇：胸部 X 線の読影。第 2 回大宮シティクリニック肺がん検診講習会。2024 年 3 月 9 日，Web 開催

### <外部研修会・講習会への参加>

- ・埼玉県診療放射線技師会第 1 支部「第 1 回勉強会。CT：肝疾患の基礎と臨床」。2023 年 10 月 20 日，Web 開催
- ・キャノンメディカルシステムズ マンモグラフィオンラインユーザーセミナー「乳がん検診と乳房画像診断の New Normal～次世代乳がん検診/乳房画像診断への心得～」。2023 年 12 月 9 日，Web 開催

- ・埼玉県診療放射線技師会「第 37 回埼玉県診療放射線技師学術大会」. 2024 年 3 月 3 日, 大宮ソニックシティ (埼玉県さいたま市)
- ・埼玉消化管撮影研究会「第 68 回埼玉消化管撮影研究会 バリウム消化管穿孔から学ぶこと」. 2024 年 3 月 26 日, さいたま赤十字病院 (埼玉県さいたま市)
- ・多摩放射線技師連合会「第 56 回多摩消化管研究会 胃部 X 線撮影検査のススメ」. 2024 年 9 月 12 日, Web 開催
- ・フジフィルムメディカル「FUJIFILM MEDICAL US SEMINAR 2024 -Breast- 乳がん検診における乳房超音波検査 -日々の業務の効率化のために-」. 2024 年 10 月 3 日, Web 開催
- ・埼玉 AI 内視鏡セミナー「CAD EYE が切り拓く AI 内視鏡の世界」. 2024 年 11 月 30 日, TKP 大宮ビジネスセンター (埼玉県さいたま市)
- ・神奈川消化管撮影技術研究会「mini 講習会 part1 Road to Master of 前壁」. 2025 年 6 月 10 日, Web 開催
- ・北海道ヘリカル CT 研究会「第 60 回北海道ヘリカル CT 研究会 同一 CTDivol において管電圧の違いが画像雑音に与える影響」. 2025 年 7 月 26 日, Web 開催
- ・乳房健康研究会「ピンクリボンワークショップキャラバン 2025」. 2025 年 5 月 8 日, Web 開催
- ・フジフィルムメディカル「エクセレントカンファレンス 2025」. 2025 年 8 月 30 日, Web 開催

#### <その他>

- ・2024 年 1 月 胸部 X 線画像診断支援 AI「EIRL Chest Screening」導入

## VIII-5 健康相談室

部門長 橋西真由美

年報委員 木原翔太

### <概要>

健康相談室は、全ての健診結果を一元で管理する部門として設立されました。また、健診結果に関する受診者との対応窓口、他の医療機関との対応窓口としての役割も担っています。保健師 3 名、管理栄養士 1 名、事務職 1 名の体制で運営しています。

### <業務構成>

- ・ 健康診断の判定に関わる業務
  - 判定結果、読影所見等の管理
  - 健診結果表の作成
- ・ 保健指導
  - 特定保健指導の実施
  - 健診受診者および外来患者への栄養指導、保健指導
- ・ 意見・要望の把握、改善活動
  - 健診結果等に対する電話での問い合わせ対応
- ・ 事後管理（フォローアップ）
  - 健診後のフォローアップ（異常値データの管理・対応、精密・再検査指示者の追跡等）
  - 紹介状の管理
  - 悪性新生物症例のデータ管理、フォローアップ
  - 紹介先医療機関やかかりつけ医との医療連携
  - 各種統計、報告（健診結果の分析・評価）
- ・ 情報の提供
  - 「健康講座」の企画運営（ドック受診者を対象とした健診当日の集団指導）
  - 「健康相談室だより」の作成（健康情報リーフレット 年 4 回発行）
  - 「健康未来講座」での情報発信（クリニック公式 YouTube チャンネル）
  - その他各種健康情報、医療情報の発信

### <認定資格>

常勤職員の各種認定資格は、以下の通りです。

- ・ 日本人間ドック・予防医療学会 人間ドック健診情報管理指導士 3 名
- ・ 日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士 1 名

- ・安全衛生技術試験協会 第一種衛生管理者 3名
- ・日本医療教育財団 メディカルクラーク 1名

#### <外部研修会・講習会への参加>

- ・日本人間ドック学会「人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会」. 2024年1月26日～2月13日, Web開催
- ・埼玉県保険者協議会「生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修」. 2024年7月22日(初任者用)、23日(経験者用), 国保会館(埼玉県さいたま市)
- ・全国健康保険協会「糖尿病を理解する」情報交換 2024年11月21日
- ・日本人間ドック・予防医療学会「人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会」. 2025年1月24日～2月12日, Web開催

#### <情報発信・啓発活動>

##### (1)「健康講座」の企画運営(ドック受診者を対象とした健診当日の集団指導)

- ・「体組成の結果の見方について」(2023年11月1日開始)

内容:2023年4月より人間ドックの標準項目に追加した「体組成測定」の結果の見方を解説。体脂肪と筋肉量による体型判定、食事や運動で気を付けるポイントを紹介

- ・「今すぐ誰でも簡単に、家トレ!～筋力アップ・維持を目指して～」(2024年10月28日開始)

内容:椅子に座ったままで出来る、ストレッチ・有酸素運動・筋トレを盛り込んだ運動を紹介

##### (2)「健康未来講座」の動画作成(クリニック公式YouTubeチャンネル)

- ・ロコモティブシンドローム動画「ロコモティブシンドロームを知っていますか?」「ロコチェックをしてみましょう」をアップロード(2023年10月13日)
- ・体組成測定結果の補足資料動画「体組成結果別生活改善のポイント～脂肪量が多い方編～」 「体組成結果別生活改善のポイント～筋肉の少ない方編～」をアップロード(2023年11月10日)
- ・ロコモティブシンドローム動画「40代からはじめるロコモ予防～生活のコツ編～」 「今からでも遅くない!ロコモの予防・改善～生活のコツ編～」をアップロード(2024年4月20日)
- ・「今すぐ!誰でも!簡単に!家トレ♪」をアップロード(2024年10月23日)
- ・「体組成結果の見かた」(2023年11月より実施していた健康講座の内容)をアップロード(2024年11月14日)
- ・ロコモティブシンドローム動画「65歳からのロコモ予防～あなたのたんぱく質は足りていますか～」 「高齢期から食べ方をシフトチェンジ～食事実践編～」をアップロード(2025年3月5日)

(3) 受診者向けパンフレットの改訂

- ・「脂質異常症と言われた方へ」…2023年10月より配布開始（結果表に同封）
- ・「血圧が高めと言われた方へ」…2025年5月より配布開始（結果表に同封）

(4) 「健康相談室だより」の作成（健診情報リーフレット）

- ・No.86「第64回人間ドック学会学術大会にて最優秀口頭発表賞を受賞しました／健康講座の内容を変更しました／メタボとロコモの関係性」（2023年12月8日）
- ・No.87「シルバー倶楽部ランチョンセミナーを開催しました／ロコモ特別講演会を開催しました／内視鏡検査における補助診断AIに関する学会発表」（2024年3月11日）
- ・No.88「胸部X線検査のAI診断システム導入／当院の精度管理について／健診胃カメラ・大腸カメラの最前線－内視鏡AIの今－」（2024年6月10日）
- ・No.89「「人間ドックの日」記念フラワーウォールイベントの実施／コーポレート・アイデンティティとロゴの一新／医療連携病院紹介：日本医科大学付属病院消化器肝臓内科」（2024年9月10日）
- ・No.90「第65回日本人間ドック・予防医療学術大会／健康講座の内容を変更しました／ピロリ菌抗体陽性者における除菌実施率向上に向けた取り組みについて」（2024年12月10日）
- ・No.91「新理事長就任のご挨拶／ロコモ度テスト無償実施に関する当院の運用とコストに関する報告／胸部一般撮影でAI支援を使いこなす読影術について」（2025年3月10日）
- ・No.92「新任常勤医師の紹介／健康診断における中性脂肪判定のための検査前食事時間の調査／医療連携病院紹介：埼玉県立がんセンター」（2025年6月10日）
- ・No.93「人間ドックの日イベント&健康保険組合・企業向け講演会を開催しました／肺がん検診ガイドライン改訂に伴う当クリニックの取り組みについて／医療連携病院紹介：彩の国東大宮メディカルセンター」（2025年9月10日）

<その他>

- ・大宮ロータリークラブにてロコモ・フレイルについて講演（橋西）（2023年12月5日）
- ・日本人間ドック学会「健診施設実態調査 2019-2023年（継続調査）」提出（2024年1月22日）
- ・日本人間ドック・予防医療学会「がん症例実態調査 2022年度分」提出（2024年11月6日）
- ・前立腺研究財団「人間ドック施設における前立腺がん検診 第20回実施状況調査（2023年1月～12月分）」提出（2024年11月13日）

## VIII-6 総務企画部

部門長 青鹿浩二  
年報委員 櫻井理紗

### <概要>

総務企画部は、営業グループ、予約グループ、事務グループ（受付、請求）、経理総務グループ、地域連携・医療情報グループの5グループで構成されています。営業5名（兼務含む）、予約14名（パート含む）、受付16名（パート含む）、請求4名、経理総務2名（兼務含む）、地域連携・医療情報グループ4名（兼務含む）の体制で運営しています。

### <業務構成>

- ・営業グループ  
健康診断の契約業務（健康保険組合、仲介業者、事業所）
- ・予約グループ  
電話及びWebでの予約業務（個人、団体）  
健康診断事前資料の発送
- ・事務グループ（受付部門）  
来院者（健診、外来）の受付業務
- ・事務グループ（請求部門）  
領収書、月締め請求書の発行業務
- ・経理総務グループ  
売上の管理業務（日報・月報集計、決算処理）  
職員人事管理業務（勤怠管理、給与入金・振込管理）
- ・地域連携・医療情報グループ  
健診結果データ作成及び結果発送業務  
他院との連携業務  
紹介状管理業務  
医療機関情報管理業務

### <認定資格>

常勤職員の各種認定資格は、以下の通りです。

- ・医療事務 9名
- ・診療情報管理士 1名
- ・理学療法士 1名

- ・栄養士 1名

#### <学会発表>

- ・関優太：人間ドックにおける就労者に対するロコモ予防の取り組みー理学療法士による運動指導とロコモ講座の紹介ーについて報告. 第66回日本人間ドック・予防医療学会学術大会 大会企画「私たちが予防医療にできること」(ポスター発表). 2025年8月22日, 国立京都国際会館(京都府京都市)

#### <消化管内視鏡検査予約枠の管理>

- ・上部消化管内視鏡検査枠(午前ドック実施分)  
2025年2月より 月・水曜:50名→60名、火・木・金・土曜:50→55名
- ・上部消化管内視鏡検査枠(午後ドック実施分)  
2025年7月より 火・木曜:20名→30名、金曜:25→30名

#### <シルバー倶楽部関連>

- ・健康講演会の企画・運営(2024年2月27~28日, 大宮ソニックシティ 市民ホール)  
「脳梗塞・心筋梗塞は予防できる」(講師:株式会社プリメディカ 薬剤師 安藤與宏様)

#### <講演会の企画・運営>

- ・2025年度 大宮シティクリニック講演会(2025年7月25日, パレスホテル大宮 ローブルーム)  
「大宮シティクリニックの歩み~私たちの目指す最高の人間ドック~」(講師:大宮シティクリニック理事長 中川良)  
「保険者データの活用が『コラボヘルス』成功のカギを握る~保険者と事業所、そして健診施設との連携強化~」(講師:日本人間ドック・予防医療学会事務局長 根岸正治様)

#### <その他>

- ・新規オプション検査 「APOA2(アポエーター)」を導入(2025年1月)  
血中APOA2を利用した膵臓がん検査
- ・新規オプション検査 「Green Chord(グリーンコード)」を導入(2025年4月)  
唾液を利用した遺伝子検査
- ・新規オプション検査 「胸腹部CT」を導入(2025年4月)
- ・「人間ドックの日」記念イベント実施  
人間ドックの日(7月12日)の周知の為、30階入口壁面に「風」をイメージしたデザインで、薔薇や胡蝶蘭などの生花を飾るフラワーウォールイベントを開催。来院された皆様へ、切り花とオリジナル扇子の無料配布を実施

## VIII-7 ISO 委員会

管理責任者 桑原香里（品質）  
中島直美（環境）

### <概要>

当院は 2001 年、「顧客満足」と「環境保全」を目的として、国際規格 ISO（国際標準化機構：International Organization for Standardization）の認証を取得しました。

当院では全ての業務について、ISO のマネジメントシステム規格に準拠したマニュアルを作成して運用しています。

ISO のマネジメントシステム規格にはいくつかの種類があります。「品質マネジメントシステム（ISO 9001）」は、良質なサービスを提供するためのシステムを管理する規格で、顧客満足度の向上を目的とした仕組みです。「環境マネジメントシステム（ISO 14001）」は、環境への影響を分析してリスクを最小限に抑えるためのシステムを管理する規格で、環境保全を目的とした仕組みです。

ISO の認証には外部機関による審査が必要です。認証を取得した後も、外部機関による毎年の定期審査と 3 年毎の更新審査を受ける必要があります。当院では 2025 年 10 月に 8 回目の更新審査を完了し、認証を継続しています。

- ・品質マネジメントシステム（適用規格：ISO9001:2015／JIS Q9001:2015）  
登録範囲：健診・一般診療の設計・開発、及びサービスの実施  
登録番号：1143  
認証：2001 年 12 月
- ・環境マネジメントシステム（適用規格：ISO14001:2015／JIS Q14001:2015）  
登録範囲：健診・一般診療の設計・開発、及びサービスの実施  
登録番号：E362  
認証：2001 年 12 月

### <活動内容>

ISO マネジメントシステムでは、PDCA サイクル（Plan-Do-Check-Act）を業務プロセスに組み込み、実施・運用→確認・評価→改善という継続的なサイクルを構築します。

具体的な活動として、受診者満足度アンケート（年 2 回）、内部監査（年 1 回）、定期的なマネジメントレビュー（マネジメントシステムを見直して有効性評価を行い、必要に応じて改善するプロセス）等を実施しています。

## IX 編集後記

年報作成委員長 森山優

2023年12月発行の初刊に続き、この度2024年度版の年報を発刊する運びとなりました。

新理事長のご挨拶に続き、ロコモ講演会、クリニック講演会の開催、体組成測定標準検査項目化、AI画像診断支援システムの導入など、最新の動向や独自の取り組みについてご紹介しております。各部門の業績・活動は、2023年10月から2025年9月までの2年分を収載いたしました。

皆様方の日々のご協力に感謝申し上げますとともに、本年報を通じて当院への理解を更に深めていただき、引き続きご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

医療法人 大宮シティクリニック 年報（2024年度）  
2026年2月 発行

<発行者>

医療法人 大宮シティクリニック  
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル30階  
TEL：0570(039)489  
HP：www.omiyacityclinic.com

<年報作成委員会>

委員長 森山優（副所長）  
副委員長 橋西真由美（業務統括本部／健康相談室）  
事務局 木原翔太（健康相談室）  
委員 照井桂（看護部） 鈴木千尋（検査部）  
市川裕也（放射線部） 櫻井理紗（総務企画部）





Omiya City Clinic